

“正解がない”  
技能伝承の難しさ  
痛感



## 虹技(姫路市)

大型鑄造事業部 松本 昂大さん

工作機械のテーブルやベッドなど、鑄造に必要な加工指示書や形状などを記した『方案』という図面を手がける。2012年の入社前は大学で導電膜研究を専攻し、鑄造のフルモールド鑄造法は未知の世界だったが、先輩社員に技能を教わった。

鑄造は製品の型を発泡スチロールで作ったのち砂で覆い、溶かした金属を砂の内部に流して冷ますと形状ができる。方案には複雑形状な加工品に金属の流路を加えるほか、熱収縮で形状が反らないよう考えた上で作る。製造現場の作業のしやすさも考慮する。

「正解がない」奥深さを話す反面、後進への技能伝承の難しさを痛感する。それでも「難しい形や初めての形をやり終えたときはやりがいがある」と、仕事の魅力を伝え続ける。